

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

August / 14 / 2020 # 89

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『お勉強』

[2] Pepeのひとりごと

『”自分”の演奏』

[3] おすすめ動画

『【緊張】を味方につけるパリオペラ座式最強メンタルコントロール【Mental Control】【トランペット】【trompette】』

『Christian Lindberg Bach STEP 1 preparing Solo Partita 15 July』

[4] 演奏のヒント！

『ソルフェージュ』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『お勉強』

先日、ふと思い立ってEuphoniumのCDをまとめて4枚購入しました。最近の演奏を聴いていない人がたくさんいるので、ここでまとめていると聴いて勉強をしようと思い立ったんです。

いろいろな曲を知ることも大切ですが、いろいろな人の演奏を聴くことも、本当に勉強になりますね。

それにしても、演奏を聴くだけで、その人のことがある程度想像できて
しまいますねえ（笑）。

やっぱり、何かの拍子にその人の性格が現れるのでしょうか。
いろいろな意味で興味深かったし、いい勉強になりました。 :)

[2] Pepeのひとりごと

『"自分"の演奏』

いろいろなCDを聴いてみると、もちろんいろいろな演奏が楽しめます。
そこで感じたことの1つに、「自分の演奏になっているか」ということが
ありました。

いろいろと聴いていくと、中には「その曲（楽譜）を演奏しただけ」と
いう感じの演奏に出会うこともあります。

音楽や芸術の世界は、聴く人、観る人の感性によって判断されるものです。
そう、基本的にはその人の「好き嫌い」で判断されます。
しかし、その「好き嫌い」すら判断しづらいものも存在すると思います。
それに属してしまうものの1つが、上に書いた「その曲（楽譜）を
演奏しただけ」、要するに「自分の演奏になっていないもの」。

自分自身は、どの曲でもいくつかのスタイルで吹き分けることができるし、
そういう状況にした上でいろいろなことを考えてその中から選択を
しているので「自分の演奏」になっているとは思いますが、気になったのは、
自分の生徒たちのことです。

果たして、その子たちが新しい曲に取り組むとき、最終的に自分らしい演奏が
できているのか。

そういうことができる状態にしてから自分のもとを離れていってもらえるよう、
これからもしっかりと日々のレッスンを積み重ねていきたい、と改めて強く
思いました。 :)

[3] おすすめ動画

『【緊張】を味方につけるパリオペラ座式最強メンタルコントロール【Mental
Control】【トランペット】【trompette】』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=N2hGnfL1DF8&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=9s)

[v=N2hGnfL1DF8&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=9s](https://www.youtube.com/watch?v=N2hGnfL1DF8&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2&t=9s)

今月の1つ目の動画は、Trumpet奏者のEric Aubier氏による動画です。
この動画の内容は、「緊張」について。
きっと、この内容が気になる人も多くいるのではないのでしょうか。

緊張に対する考え方は、僕もほぼ同じでとても共感しました。 :)
対策については、まだ他にいくつか僕も持っていますが、きっと彼もすべてを話しているわけではないでしょう（笑）。

いろいろな内容の動画があるようですので、ぜひ興味のある人は
観てみてくださいね。
僕は、彼の演奏、とても好きです。 :D

『Christian Lindberg Bach STEP 1 preparing Solo Partita 15 July』
https://www.youtube.com/watch?v=icHzlDqULJQ&list=PLyc9bjk6_F6u-mlb8H_BmrCYj6eSzy53C

2つ目の動画は、Trombone奏者のChristian Lindberg氏の動画です。
彼は、先月からこのJ.S.BachのViolinのための無伴奏パルティータの
練習の過程を動画にとって公開してくれています。

彼の練習スタイルはとても建設的なのですが、この曲のための準備に
関してもとても建設的に計算されていて、それを実際に実践している
様子がよくわかります。

毎日アップしているので、興味のある人は少しずつ時間のあるときに
観てみてください。
あと少しでこの練習プロセスも終わるようですよ。 ;)

[4] 演奏のヒント！

『ソルフェージュ』

ソルフェージュの鍛え方、というと難しく聞こえてきますが、あまり
難しく考えないで簡潔に捉えれば、要するに「慣れ」の部分はかなり
あるのかなあ、と個人的には思っています。

ソルフェージュが得意ではない、と思っている人は、怖がらないで、
いろいろな曲を聴く、さらう、ということをして是非してみてください。

大多数の人が、たくさんの演奏（いろいろな曲の演奏と、同じ曲の違う
奏者での演奏）を聴くことで、なんとなくできるようになってくると思います。

まずは、その聴いたことのある曲でいろいろな奏者のマネをしてみましょう。

まずは、同じ人のいろいろな曲の演奏を聴きましょうか（CDでもYouTubeでも、どちらでもいいですよ）。

そして、その人の演奏と同じように吹くのです。

できれば、3曲は違う曲を聴いて、マネをしてみましょう。5、6曲あると、なおいいと思います。:)

その次に、好きな曲でも自分にとって吹きやすい曲でもなんでもいいので、1曲か2曲、いろいろな人の演奏が聴ける曲を選んでください。

そしてその曲を、いろいろな人のヴァージョンでマネをしていってみましょう。

そうすると、自分の好きな吹き方（フレーズの作り方や終え方など）がなんとなくわかってくると思います。

こういうことを繰り返し繰り返しすることによって、自分のスタイルや吹き方というものが自然と組み立てられてくるのだと思います。

ポイントは、最初に（自分の好き嫌いに関係なく）「全て」のマネをすることだと思います。

それをすることによって、自分がどうしてそれが好きなのか、どうしてあまり好きになれないのか、ということがわかってくるでしょう。

それらがわかってくると、今度は自分がレッスンをする立場になったときに、こう演奏するところがこうなるからいい感じになる、もしくは、こう演奏するとなっちゃうからこんな感じになってしまう、ということが伝えられるようになります。

ぜひ、やってみてくださいね！ ;)

編集後記

今年の夏も、尋常でない暑さの日が続いていますね・・・。
僕の住んでいる大阪も、毎日体温のような気温になり、毎日を健康で過ごすことをがんばっています。:)

自粛期間が終わり、オーケストラのコンサートも少しずつ再開されてきました。

こういう状況でも、生演奏を求めて聴きに来てくださる人たちには、本当に感謝しています。ありがとうございます。:)

とはいっても、まだまだこの状況の前ようにはなっていません。
コンサートの数もまだ少ないので、しっかりと自宅で自分の練習に取り組むことができます。

自宅の練習する部屋にはエアコンが付けられないので、いつも大汗をかきながら扇風機と共演をしているのですが、だいぶその環境にも慣れてきました（練習の後の水シャワーが気持ちいい!!）。

みなさんも、暑さには十分に気をつけて、健康に過ごしてくださいね。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>